

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年6月28日 (2012.6.28)

【公表番号】特表2011-523358(P2011-523358A)

【公表日】平成23年8月11日 (2011.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2011-032

【出願番号】特願2011-509639(P2011-509639)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/30 (2006.01)

G 0 1 N 1/04 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

G 0 1 N 33/483 (2006.01)

C 1 2 Q 1/26 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/30

G 0 1 N 1/04 V

G 0 1 N 1/04 H

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/53 Y

G 0 1 N 33/48 S

G 0 1 N 33/483 A

C 1 2 Q 1/26

C 1 2 Q 1/68 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月11日 (2012.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料採取装置であって、

シャフトと、

前記シャフトに結合される多孔質媒質と、を含み、

前記多孔質媒質は、保湿剤として 1, 2 - プロパンジオールを含む水溶液を含む、装置

。

【請求項 2】

試料採取物品であって、

第 1 末端部と、前記第 1 末端部に対向する第 2 末端部とを有するハウジングと、

そこに配置される試料採取装置であって、

シャフトと、

前記シャフトに結合される多孔質媒質であって、前記多孔質媒質が、保湿剤として 1, 2 - プロパンジオールを含む水溶液を含む、媒質とを含み、

前記ハウジングの前記第 1 末端部が、前記試料採取装置を受容するように適応される、物品。

【請求項 3】

試料中の検体を検出する方法であって、

シャフトと、前記シャフトに結合される多孔質媒質とを含む試料採取装置を提供する工程であって、前記多孔質媒質が、保湿剤として 1, 2 - プロパンジオールを含む水溶液を含み、前記多孔質媒質が、表面から試料を採取するように適応される、工程と、

前記試料採取装置を表面と接触させて試料を得る工程と、

前記検体を検出する工程と、を含む方法。